

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2024.2.1
No.196



主な内容

- ◆定例会の審議結果
議案クローズアップ……2～3P
- ◆委員会審査の概要……4～5P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
……………6～13P
- ◆活動ピックアップ・
編集後記 お知らせ……14P

令和5年市議会第4回定例会

補正後総額247億1,932万7千円の
一般会計補正予算案などを可決

令和6年美濃加茂市消防出初式 関団の様子

定例会の審議結果

令和5年

第4回

定例会

令和5年11月29日に美濃加茂市議会第4回定例会が開会され、会期を12月19日までの21日間と決定しました。その後、5億3,951万2千円を増額する令和5年度美濃加茂市一般会計補正予算（第5号）を含む25案件（請願2件含む）を上程し、提案説明を行いました。そのうち、美濃加茂市教育委員会の委員の任命について（議第90号）は、質疑、採決まで行い散会しました。

14日目（質疑）は、初日に上程した22議案（請願2件と初日に議決した議第90号を除く）について質疑の後、各常任委員会に付託を行いました。

その後、4議案が追加上程され、3億5,999万7千円を増額する令和5年度美濃加茂市一般会計補正予算（第6号）を含む3議案については、提案説明、質疑を行い、予算決算常任委員会に付託を行いました。

また、美濃加茂市選挙管理委員及び同補充員の選挙については指名推選を行い、散会しました。

第21日目（最終日）は、初日と第14日目（質疑）に採決した2議案を除く27議案（請願2件含む）について、各常任委員会の委員長報告の後、討論（賛成）、採決を行いました。

また、最終日に追加上程された議第94号、議第95号については提案説明、質疑、採決を行い、定例会を閉会しました。

議案 クローズアップ

議第88号

指定管理者の指定について

【概要】

太田宿中山道会館の指定管理者の指定期間が令和6年3月31日をもって満了となるため、新たに指定管理者を指定するもの。

公の施設の名称：太田宿中山道会館

指定管理者となる団体の名称等：株式会社 三和サービス
代表取締役 林 正 和

指定管理者となる団体の所在地：岐阜市西鶉1丁目52番地

指定の期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日まで



中山道会館

議案の審議結果

賛否の分かれた議案

【表示記号】

議決結果：○…可決 ×…否決 欠…欠席
賛否状況：○…賛成 ×…反対 ー…議長のため採決に加わらない

議案番号	議案名 主 な 内 容	議決結果	議 員 名																
			谷本 祥	亀井 滋昭	高井 実枝	額 野 源太	渡 邊 一子	田 口 智子	永 田 徳男	坂 井 文好	岸 一夫	渡 邊 孝男	村 瀬 正樹	金 井 文敏	柘 植 宏一	森 弓子	森 厚夫	山 田 栄	
議第91号	令和5年度美濃加茂市一般会計補正予算（第6号）	◎	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	○

定例会の審議結果

議案の審議結果

全会一致で承認・可決された議案

議案番号	議案名	主な内容
承第6号	専決処分の承認を求めることについて 令和5年度美濃加茂市介護保険会計補正予算（第2号）	172万1千円の増額、予算総額は42億8,298万5千円
議第69号	美濃加茂市監査委員条例及び美濃加茂市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	地方自治法の改正に伴い、引用条項の整備を行うもの
議第70号	美濃加茂市部設置条例の一部を改正する条例について	円滑な市政運営が継続できる組織作りのために部の統合及び部の事務分掌を一部移管するもの
議第71号	美濃加茂市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について	行政不服審査会の委員の任期等の変更及び学校検尿判定委員会を追加するもの
議第72号	美濃加茂市印鑑条例の一部を改正する条例について	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、印鑑登録証明書交付申請方法の拡充を行うもの
議第73号	美濃加茂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告に基づき、民間給与との較差を解消するため、給料表の水準を引き上げ、期末手当の支給月数を引き上げるもの
議第74号	美濃加茂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告に基づき、民間給与との較差を解消するため、期末手当の支給月数を引き上げるもの
議第75号	美濃加茂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	新型インフルエンザ等対策特別措置法及び内閣法一部改正に伴い職員手当の名称の改正を行うもの また、人事院勧告に基づき、民間給与との較差を解消するため、給料表の水準を引き上げ、期末手当の支給月数を引き上げるもの
議第76号	美濃加茂市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告に基づき、民間給与との較差を解消するため、期末手当の支給月数を引き上げるもの
議第77号	美濃加茂市会計年度任用職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	民間の特別給（ボーナス）の支給割合との均衡を図るため、期末手当の支給月数を引き上げるもの
議第78号	美濃加茂市手数料条例の一部を改正する条例について	コンビニ交付サービスにより取得する証明書の交付手数料を期間を定めず減額する改正を行うもの
議第79号	美濃加茂市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例について	子育て支援の充実と保護者の利便性向上を図るため、放課後児童クラブが保育所等に準じた運用となるよう所要の改正を行うもの
議第80号	美濃加茂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	国民健康保険法等の一部改正に伴い、出産被保険者の産前産後期間における保険料を免除するための所要の改正を行うもの
議第81号	美濃加茂市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	水道法の一部改正により水道事業の一部の権限が厚生労働大臣から国土交通大臣に移管されるため所要の改正を行うもの
議第82号	美濃加茂市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	新型インフルエンザ等対策特別措置法及び内閣法一部改正に伴い職員手当の名称の改正を行うもの
議第83号	令和5年度美濃加茂市一般会計補正予算（第5号）	5億3,951万2千円の増額、予算総額は243億5,933万2千円
議第84号	令和5年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算（第2号）	214万5千円の増額、予算総額は51億9,027万4千円
議第85号	令和5年度美濃加茂市介護保険会計補正予算（第3号）	1,067万7千円の増額、予算総額は42億9,366万2千円
議第86号	令和5年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会計補正予算（第1号）	25万6千円の増額、予算総額は4,072万3千円
議第87号	令和5年度美濃加茂市水道事業会計補正予算（第3号）	業務予定量の補正、資本的収入及び支出の補正
議第88号	指定管理者の指定について	太田宿中山道会館の指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求めるもの
議第89号	市道路線の認定について	市道新池712号線の認定
議第90号	美濃加茂市教育委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の任命同意（榊間月給氏 新任）
議第92号	令和5年度美濃加茂市水道事業会計補正予算（第4号）	補正後水道事業収益予算総額16億7,720万4千円 補正後水道事業費用予算総額16億6,013万5千円
議第93号	令和5年度美濃加茂市下水道事業会計補正予算（第1号）	補正後下水道事業収益予算総額23億5,154万2千円 補正後下水道事業費用予算総額23億4,254万2千円
議第94号	学校給食費無償化を求める意見書について	国においてすべての市町村で、学校給食の無償化を実施することを求めるもの
議第95号	子ども医療費助成制度の18歳まで拡充を求める意見書について	18歳までのすべての子どもを対象とした、全国一律の子ども医療費助成制度の早急な創設を求めるもの
請第4号	小中学校の給食費の無償化を求める請願について	小中学校の給食費の保護者負担分を無償にすること、国が給食費の無償化を行うよう意見書を政府に送付することを求めるもの
請第5号	18歳年度末までの子どもの医療費無料化を求める請願書について	市の子ども医療費窓口負担を、入院・通院とも18歳まで無料にすること、県の子どもの医療費窓口負担を、入院・通院とも18歳まで無料にしよう要請することを求めるもの
選第4号	美濃加茂市選挙管理委員及び同補充員の選挙	任期満了に伴う後任委員及び補充員の選挙 補充員の選挙委員及び補充員は下記の通り

※請第4号、請第5号については、委員会の趣旨採択とした審査結果に対する審議結果。

美濃加茂市選挙管理委員・同補充員 任期：令和5年12月21日～令和9年12月20日

選挙管理委員：小藤信之氏（太田地区） 安藤 文典氏（古井地区） 朝日 眞司氏（三和地区） 福田美津枝氏（伊深地区）
同補充員：梅村 鎮氏（加茂野地区） 横山 俊二氏（下米田地区） 堀部 益男氏（蜂屋地区） 山田 昌人氏（山之上地区）



委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※ 《 》は議案名、◆は主な内容、()は補正金額

予算決算常任委員会

《令和5年度市介護保険会計補正予算（第2号）》

- ◆ 第1号被保険者保険料還付金（172万1千円）

問 専決処分となった経緯は。

答 介護保険料の過誤納金が発生したが、還付先口座が把握できず、還付ができていない事案が判明した。原因は、口座未把握の場合は届け出により随時勤奨を行うところ、事務引継ぎがされず一部が未処理となっていたため、還付できていなかった。

《令和5年度市一般会計補正予算（第5号）》

- ◆ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金返還金（1億5,114万6千円）

問 返還金の詳細は。

答 多額の返還金が生じたいくつかの要因は、臨時交付金の制度の特徴を踏まえると、全体の事業スキームから臨時交付金の交付限度額と臨時交付金の実施計画額の差にポイントがあると考ええる。

例えば令和4年度は、5億832万6千円の交付限度額に対して、5億1,054万5千円の計画を立て、その差が約200万円となる。計画した事業の交付金対象経費について、交付金以外の財源は、約200万円の見込みとなる。5億円を超える臨時交付金の対象経費に対して、臨時交付金を除く一般財源の充当する見込み額が少なかったと考える。

- ◆ 第6次総合計画推進事業（360万5千円）

問 アンケート調査の実施時期と委託先は。

答 本定例会で補正予算が認められれば、早急に市民に対してアンケート調査を行い、その結果を令和6年度早期に調査結果をとりまとめ、後期計画の素案の作成に入っていきたい。

また、事業者については、予算が認められた後に入札等を行い選考するので現時点では未定である。

- ◆ 生活保護扶助費（9,800万円）

問 増額理由は。

答 扶助費の生活扶助費、住宅扶助費、医療扶助費の3点の補正となる。コロナの第5類移行により、

受診控えも解け、医療扶助が増えたことが大きな原因と考える。

- ◆ 中小企業支援事業（511万1千円）

問 住宅リフォーム助成補助金の内訳は。

答 昨年度112件が、本年度は現在82件で、182件に増加すると推測する。住民の方の住宅リフォームで、事業所等は入っていない。

《令和5年度市一般会計補正予算（第6号）》

- ◆ 低所得世帯生活支援特別給付金事業（2億5,376万1千円）

問 給付金支給までの段取りは。

答 11月29日に国の予算が成立し、年内に予算の確保ができるように、今回、追加議案として提出した。システム改修について、まだ国から詳細な仕様が出されていないので、議決後に、システム改修事業者と契約し、対象者の抽出を行い、速やかに交付をしたい。

- ◆ 企業工業振興事業（90万円）

問 インド訪問の期待できる効果は。

答 インド工場は、最先端のスマートファクトリーであり、オートメーション化、AI化、IOT化が進んでいる工場だと聞いている。今後の国内の人材不足に対応した新たなものづくりの現場を視察することができる。その知見を、人材確保を課題とする市内企業に伝えること、また商工会議所と連携することで市内事業者の生産性の向上に寄与できると考える。

文教民生常任委員会

《小中学校の給食無償化を求める請願についてについて》

本請願全てを採択するものではなく、願意を採択する旨の発言に基づき採決した結果、趣旨採択すべきものと賛成多数で決する。

・主な賛成意見

国が一律でやるべきだと思うが、県内にも財政が苦しいなりにも取り組んでいる自治体はあり、子育て

委員会審査の概要

て支援として必要であることから、件数が増えてきていることを考えると、住む地域によって違うというのは不公平である。

実際にやっている自治体があるということも考え、国に任せるだけではなく、住民福祉のことを考え、優先順位はあるが、同時進行していく必要がある。

・主な反対意見

市の予算の約1%程度で実現可能とあるが、小学校260円の給食費に対しても倍以上の税金が既に投入されている。

義務教育は子供たちがどこの自治体に住んでいても公平に全国的に無償化になることが希望であり、国が無償化するべきである。

無償化を求める気持ちは理解できるが、議会としては国のほうに意見書を出すということでもまとまっているため、本請願は趣旨採択とするべきである。

《18歳年度末までの子どもの医療費無料化を求める請願書について》

本請願全てを採択するものではなく、願意を採択する旨の発言に基づき採決した結果、趣旨採択すべきものと賛成多数で決する。

・主な賛成意見

必要があるのに支援がいつになるのか分からないということについては、子育て支援と少子化対策は、極めて関係性は深い。

以前、5,000万円くらいで美濃加茂市ではできると言われており、少子化を考えるとこの先、費用については今が最高で、ここから減っていくことも考えられる。

多くの自治体が実施していることもあり、採択すべきである。

・主な反対意見

今後、医療が高度化して、保険の財源が乏しくなっていく方向性があり、もう一度医療にかかる、議論をおこしていくことが必要である。

今年3月議会の後に、18歳までの無償化の意見書を市議会に国に提出している。

今年度も継続して意見書を出す準備を進めており、本請願は趣旨採択とするべきである。

企画建設常任委員会

《市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について》

問 県内でどれくらいの市町村が学校検尿判定委員

会を設けているのか。

答 県内各地区で平成15年から順次設置されており、残りが美濃加茂市と加茂郡だけになっている。

《市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について》

問 議員報酬を上げることは「決まり」であるのか。

答 例年、人事院勧告がなされた場合、特別職、議員の給与に関してもそれに対応しており、今回もこういう形で上程をしている。

《市会計年度任用職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について》

問 引き上げ率は、人事院勧告によるものか。

答 本市が暫定再任用と同率の期末手当に合わせていることによるもので、会計年度任用職員の率ということでの勧告ではない。

《市手数料条例の一部を改正する条例について》

問 手数料金額変更の妥当性は。

答 当初コンビニ交付サービスを始めた段階で200円に設定していた。その後、令和5年2月から、利用を高めるため、10円とした。

しかし、今後10円のまま引き続きずっとやっていくことは非常に財政的に厳しいと認識している。

他市町も、今減額している9自治体のうち7自治体が同じ100円引きの200円で運営をしている。

他市町とも比較して200円は財源にも配慮して妥当である。

《指定管理者の指定について》

問 市内業者にプラスの加味はされているのか。

答 プレゼンだけではなく、提出された資料も参考にしながら審査をしている。

地域との協働は加味されて、評価されているところがあるが、経営面等トータル的に見て最終的な評価をしている。

議案や条例案の概要は、下記からご覧いただけます。

■美濃加茂市議会ホームページ

<http://gikai.city.minokamo.gifu.jp>

■閲覧方法

トップページ

本会議日程と議案

令和6年 第4回定例会



市政一般に対する質問と答弁

市政一般に対する質問と答弁

14人の議員が登場し、市政全般に対して、事業の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



森弓子 議長

美濃加茂市議会 議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継

検索

議会中継



視聴方法

トップページ

会議名一覧

令和5年第4回定例会

12月7日・8日

一般質問

会議録検索システム

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



村瀬正樹 議員

みのかも定住自立圏の今後について

問 第3次共生ビジョン第2回変更の主な変更点や取組事業は。

答 ビジョンには、現在重点事業として、圏域公共交通網整備、地域防災力強化、のぞみ教室など8事業あり、基本事業として、幼児療育支援、消費生活センター、休日急患診療所事業など、12事業の計20事業が掲載されている。

本年7月に行った第3次ビジョンの第2回変更では、圏域公共交通網整備事業に八百津町を、情報の多言語化・発信の支援事業に坂祝町を、新たに加えた。

問 メリット、デメリットは。

答 定住自立圏構想のメリットは、中心市と近隣町村などが、お互いの「強み」と「弱み」を補完し合いながら、自治体の垣根を越え、住み続けられる地域、圏域を実現できることである。

例えば、図書システムの広域利用、生涯学習情報誌

等の共同発行などは、相互の住民が、相互の市町村のサービスを受けることができる。また、24時間健康相談電話事業や、休日急患診療所事業などは、スケールメリットを活かし、各市町村の財政負担を軽減しつつ、サービスを提供している。

一方で、定住自立圏構想は、中心市と各町村との1対1の協定に基づくものであり、圏域全体で取り組む事業については、合意形成などに時間を要することが、課題でもある。

問 これからの進む方向は。

答 令和5年6月に改正された「定住自立圏構想推進要綱」では、新たにデジタル技術の積極的な活用が位置づけられた。

今後の推進にあたっては、人口減少社会においても、持続可能な圏域を維持するため、DXを活用することによって生産性の向上をはかり、スケールメリットを活かした行政事務の効率化や、行政サービスの拡充に取り組んでいく。

市政一般に対する質問と答弁



柘植宏一 議員

小規模特認校について

問 在籍児童の現状は。

答 伊深小の特認校制度利用児童は20人で全体の25%、三和小は12人で全体の46%である。

伊深小の特支在籍児童は7人で、その内、制度利用児童は5人となっている。

また、通級指導教室を利用する児童は、伊深小学校は8人、その内制度利用児童は3人、三和小学校は1人いるが、制度利用児童はいない。

困り感をもつ児童については、その定義が定まらないことから、具体的な数字として示すことは出来ないが、集団で活動するよりも自分のペースで活動することを好む傾向が強い子や、周りの音や動きに敏感ゆえに落ち着かないなどといった児童が複数在籍している。

不登校について

問 不登校の増加に対する新たな対策は。

答 未然防止の視点を大切にし、相談体制の充実を図るため、相談員の増員や小さなSOSの早期発見・対応のためにICT活用導入などを検討している。

また、現在、適応指導教室として運営している「あじさい教室」とは別に、フリースペース的な、ふと足を向けてみたくなるような居場所の新たな設置を検討している。

不登校特例校について

問 設置要件は。

答 市内の不登校の状況やニーズを分析した上で、学校の経営方針を明確にし、対象児童生徒や特別の教育課程の編成、関係諸機関との連携体制など具体的な計画を作成し、文部科学大臣に申請する。新たな学校の新設となるため、大きな予算の確保が必要となる。

問 国等の支援内容は。

答 市設置準備委員会の運営やプレイルーム等の設置、広報活動などに係る経費に対し各年度1自治体当たり500万円を上限とした補助がある。また、設置を希望する場合には、様々な課題について相談や助言が受けられるよう、設置・運営に携わった実績を有する人材の派遣も検討されている。



田口智子 議員

道路整備について

問 国道41号、21号、248号の渋滞回避等の道路整備の要望状況は。

答 国・県・関係市町で構成する岐阜県道路交通渋滞対策推進協議会において渋滞対策を検討しているが解消には至っていない。市内の国道21号宮浦高架橋の4車線化及び、国道41号太田町交差点の立体化事業の事業が重要であると考え、可児市、坂祝町と合同で国土交通省本省、財務省本省、関係国会議員に対して要望活動を実施している。

市長の公務について

問 視察や出張の報告書は。

答 市長は全ての出張における命令権者となる為、自らが視察などで学び得たことを庁内に報告するという立場にはない。同行した職員が報告書にあたる「復命書」を作成し、庁内における内部資料として政策立案や業務改善に活用している。視察の成果は

新たな取り組みや業務の改善等という形で市民の皆様にお返しできるよう努めたい。

問 ブラジル視察の行程、目的や効果は。

答 サンパウロ市のブラジリア学園、ヤマザキマザックのブラジルテクノロジーセンター、マウリシオ・デ・ソウザ・プロダクションズを視察。また、バルエル市長や玉城ユウジ氏と面会を予定している。今回の訪問で教育や産業に関わる施設を現地視察することで、ブラジルから来日した子どもたちが日本に適應する為に必要な支援を把握し、のぞみ教室の効果的な指導に繋げていく。ブラジルから働きに来る人にとって働きやすい環境を知り、将来の人材獲得につながる様、ブラジルからの労働力の受け入れ拡大に繋げたい。今回の訪問で構築した関係を継続して、産業、観光面において美濃加茂市を広くPRしていきたい。

問 市長の考える、本市の多文化共生・教育の課題は。

答 のぞみ教室の効果で高校進学率は伸びているが、大学進学や就職に対する考えはハードルが高いと考える。外国籍の子どもが社会人として日本に残るのか、本国へ戻るのか、人生設計に寄り添った教育が大切と考える。

市政一般に対する質問と答弁



森 厚夫 議員

新庁舎建設について

問 新庁舎ロードマップ、ステップ4の新庁舎機能の決定は。

答 ステップ1～3のワークショップによる市の役割、新庁舎の役割、コンセプトに対する意見、あるいはアンケートの結果を踏まえ、第3回ワークショップにおいて、市民の皆様の意見を聞いている。令和6年2月に予定の無作為抽出の4,000人アンケートを行いどのような機能が必要なのか等、市民全体の傾向を把握したいと考えている。それらの結果を踏まえたうえで決定したい。

問 ステップ5の新庁舎の複数候補地案の選定は。

答 ステップ4による新庁舎機能に対する意見を踏まえたうえで、複数候補地案に対する意見をいただきたいと考えているため、第3回ワークショップにおいて意見を聞いている。

また、4,000人アンケートにおいても市民全体の傾向を把握したい。

問 ステップ6の複数候補地の決定に至るまでの課題は何か、またその対応をどのように進めようとしているか。

答 数候補地案の決定については、市民全体の傾向を踏まえて行うことが必要と考えている。候補地の数が多くなれば、詳細調査や検討も多くなることとなり、その事業費も大きくなる。アンケート結果や議会の意見も踏まえ、決定したいと考えている。絞り込んだ結果を、いかに周知し、合意形成を得ていくかも課題であり、若い世代の方に認知していただくためにも、広報みのかもに併せて、SNSの活用も考えている。

自治会組織について

問 自治会員の各種団体への協力費の不公平感の是正は。

答 未加入者でも会費支払いが可能となるような支払い等、関係部署と協議を行っていて、今後も不公平感の是正に向け、さらに協議を進める。

問 未加入者とのトラブル対策は。

答 未加入者とのトラブルは、不公平感をもたらすものであり、認識している。自治会選出の役員や業務の見直しを引き続き担当部署と協議をしていく。



岸 一夫 議員

美濃加茂和良線のヤマザキマザック第2工場西の交差点の信号機設置について

問 中部国際医療センター開設に伴い、朝晩の交通量の変化が見受けられる。ここは通学路となっており、危険度の増加が懸念される。そこで交通量の変化、安全性の確保、信号機の設置について市の考えは。

答 県道美濃加茂和良線のヤマザキマザック第2工場西のT字路交差点については、中学生の通学時間帯に一時的な混雑が見受けられるが、現状の道路形態が信号機の設置条件を満たしておらず、大規模な交差点改良が必要になることから、信号機は設置できない。現状における安全対策として、可茂土木事務所と連携して、県道の優先道路の表示や、ゼブラ線を引くことで、交差点への右左折時のスピードを抑えたり、視認性を高めるような対策を行ってきた。

市道新田柳下線の 中蜂屋橋の交通状況について

問 現在中蜂屋橋において、車のすれ違いに影響があり、橋の幅が住民に不便を与えている。この橋の交通円滑化、安全性の向上について施策の考えは。

答 市道新田柳下線が地域にとって重要な生活道路であることは承知している。現時点では中蜂屋橋の付け替えや拡幅する計画はない。

市では、道路管理者として利用者が安全かつ円滑に運行できるよう注意喚起などの対策をしていきたいと考えている。

国道418号線上蜂屋地区における 公衆トイレの設置について

問 上蜂屋地区において、公衆トイレ設置の要望が地域より出されているが、この地域で公衆トイレの設置が可能か。

答 蜂屋地区の幹線道路沿いには設置されていない。現在のところ、蜂屋地区での公衆トイレの建設計画はないが、公共施設の建設計画を策定する折には、要望を検討事項の1つとして検討していく。

市政一般に対する質問と答弁



高井実枝 議員

美濃加茂市のお祭り、イベントについて

- 問** おん祭MINOKAMO夏の陣、秋の陣などは。
- 答** 前提として、行政が主導でイベントを実施することは現実的ではなく、実行委員会が協議をしていくもの。来年の花火大会、盆踊り大会、姫行列についてはコロナ禍前のようなフルスペック開催は難しいのではないかと実行委員会の中でも共通認識をしている。運営・警備・安全対策等を実行委員会で検証し、関係者協議を速やかに進めていきたい。
- 問** 中山道観光推進事業は。
- 答** 中山道会館の指定管理者が変わるこのタイミングで観光ビジョンを策定し、具現化したい。
- 問** みのかも市民まつりの出店料一律化の変更は。
- 答** 今のところは考えていないが、福祉団体については今後検討していきたい。
- 問** イベントの日程内容は。
- 答** 来年度は市政70周年でもあり、市としても重複しないように調整を考えていきたい。

企業支援について

- 問** 中小企業支援は。
- 答** 国、岐阜県、美濃加茂市それぞれの中小企業支援のための補助金がある。市で受け付けできない補助金については商工会館1階の「岐阜県よろず支援拠点」に相談窓口がある。
- 問** 姫BIZ戦略事業の今後は。
- 答** 市として事業効果検証については予算や関係者の追跡調査等を行う。商工会議所との連携含め、多様なニーズに応える事業を継続していきたい。

女性活躍推進について

- 問** カミーノ推進プロジェクトは。
- 答** 女性の起業を支援、多文化共生を活かした子どもの教育、女性専用ハローワークのような機能を備える女性活躍支援センターリオラを開設し伴走型の支援を行っている。
- 問** 女性活躍推進事業の今後は。
- 答** 女性活躍推進には男性や企業の理解・協力が大切であること、また学生への働きかけが必要であると感じており、女性に限らず男性や企業、若者を対象とした事業展開をしていきたい。



谷本 梓 議員

移住定住に関する若者支援について

- 問** 市営住宅を若者移住の対象としてはどうか。
- 答** 市営住宅は、公営住宅法に基づき設置されており、住宅を確保することが困難な定額所得者の方々に入居していただくための賃貸住宅なので、現時点では、市営住宅の入居要件にある基準額以上の所得を有している若者を入居対象にすることはできない。市としては、三和町の定住促進住宅のように子育て世帯を中心に移住定住を促進していきたいと考えている。
- 問** 市営住宅の入居については、平成30年から保証人を無くす事が望ましいとする国の方針となっている。美濃加茂市としては、保証人の取扱いを今後どのようにしていく予定なのか。
- 答** 本市では、令和2年に連帯保証人を2名から1名にする条例改正を行っている。近隣の地域では、入居に際して連帯保証人を不要とする自治体もでていく。本市としては、身寄りの無い単身高齢者の増加

等を踏まえ、保証人の確保が困難となる事が懸念される事から、連帯保証人の取扱いは重要課題の一つとして認識している。現在連帯保証人を不要とした場合の懸念事項を整理しながら、新たな家賃債務保証制度の導入など、住宅運営に支障とならないよう連帯保証人に代わる制度を検討している。

こども食堂と市の関わりについて

- 問** 美濃加茂市では、こども食堂を社会福祉協議会が支援しているが、市として子ども食堂にどう関わりをもっていくのか。
- 答** 現在美濃加茂市社会福祉協議会が開設・運営に関する相談対応や金銭的な支援を行っている。市としても、こどもの貧困対策の推進を図るため、こども食堂の必要性を感じており、こども食堂の活動の周知や、安定した運営に向けた関係機関との連携支援などを行っている。
- 既存の団体や今後新たに実施を考えている団体に対して聞き取りを行い、内閣府が推進する「地域子どもの未来応援交付金」や、県補助事業などの活用ができるよう、積極的な支援をしていく。

市政一般に対する質問と答弁



渡邊一子 議員

小中学校の空調について

問 特別教室の空調設備設置をいつまでにするか。

答 遅くとも令和8年度には、設置工事に入りたい。

小中学校のトイレについて

問 トイレや設備面で小中学校にかなりの差があり、公平でないと思うがそれは何故か。

答 過去に実施した校舎の耐震補強工事や大規模改修工事などで、トイレの改修を合わせて実施できた学校と、予定がなかった学校との差が生じた。差を解消するため、古いところから順次改修していきたい。

新庁舎建設について

問 白紙前の計画では、立地適正化計画を元に構想を練ってきたが、その計画は現在も有効か。

答 現計画は新庁舎は美濃太田駅周辺地区に誘導することになっているが、この内容に沿わない場所になった場合には、立地適正化計画の見直しも含めて

検討していく。

問 円安・物価高騰で資材調達が困難、費用が更に増加すると思うが、いくらで試算しているのか。

答 本体の工事費は、55億円～60億円を見込んでいる。この金額には、地盤改良、造成工事他、道路等の基盤整備、現庁舎解体工事、防災拠点、市民交流機能等、職員駐車場の確保に関する費用は含まれていない。

農業の耕作放棄地、担い手不足について

問 耕作放棄地が増加しているが、どうしていくか。

答 農地の集約や集積を進め、営農組織等に情報提供し、耕作放棄地にならないよう取り組んでいる。法改正があり、新規就農者の増加に期待する。

問 重労働、採算が合わないから辞めたい、担い手もいないという声があるが、どう思うか。

答 農業を守っていくことは、自然豊かな美濃加茂市の環境を未来に繋ぐために、大切な条件である。現場の状況を見極め、対応できることを考えていく。

問 補助金をもっと手厚くできないのか。

答 補助制度を作ったり、見直したりする場合は、目的を明確にして判断する。実施者からヒアリングし、総合的に判断していく。



山田 栄 議員

新庁舎建設計画について

問 市が選定第一に考える候補地基準は。

答 地方自治法第4条第2項を踏まえた市民の利便性に考慮した視点、災害リスクの軽減に考慮した視点、新庁舎整備にかかるコストを抑制する視点など、行政の持つ情報を市民の皆様と共有しながら、市民と市民の対話や、行政職員との意見聴取を重ね、候補地を決定していきたい。

問 1000年に一度の自然災害（浸水被害）が基準となったハザードマップに対する評価は。

答 木曾川浸水想定想定最大規模降雨は大変重要な問題である。1000年に一度の降雨があった場合、木曾川に限らず、飛騨川、蜂屋川、川浦川、深渡川、加茂川などでも浸水が想定され、同時に、ため池の浸水想定や、土砂災害などにも配慮が必要である。また、浸水継続時間は、現庁舎周辺で21時間未満、美濃太田駅周辺で12時間未満と国土交通省から公表されている。また、昨年度実施したアンケートに

おいては「市民の暮らしを守るため、地域防災拠点として機能する庁舎」と回答された方が最も多い結果であった。仮に、整備地が浸水害の影響がある場所であってもリスク軽減のため、電気系の制御盤を上層階に設置することや、文化の森の地域防災拠点を活用するなど、災害発生時の対応ができる体制整備を考えていく。

多文化共生の指針

問 「意識啓発と社会参画支援」「地域活性化の推進やグローバル化への対応」は。

答 令和2年度から国のプランに位置づけられたものだが、自治会活動をはじめとする地域活動への積極的な参画や、市内企業に対する外国人人材の受入体制整備の支援等、今後さらに取り組むべき課題として認識しているので、来年度、策定作業を行う次期プランにしっかりと位置付け、重点的に取り組みたい。

市政一般に対する質問と答弁



坂井文好 議員

農業ビジョンと「地域計画」について

問 美濃加茂市の農業の未来図をどのように描き考えているか。

答 美濃加茂市として農業は未来につながる大切なもので、しっかりと守っていかねばならない。しかし、現状では農業従事者の減少に歯止めをかけることは難しく、今後も減少傾向は続くと考えている。その対策として、担い手の確保や育成、担い手への農地集約化等を包括的に推進していく取り組みが必要である。

また、経営感覚を持った方が農業分野で活躍したり、企業による農業参入を後押ししたりする等、行政の支援も不可欠である。そして、経済性や生産性に留意しつつ、スマート農業を推進する等、様々な方向からのアプローチを行うことで、未来に向けた持続可能な農業への転換こそが必要と考えている。

問 担い手への集積・集約の考え方と今後の具体的な「地域計画」の進め方は。

答 今後作成する「地域計画」は、農業の担い手ごとに営農する農地を集約することに重点が置かれている。「地域計画」の策定については、現在の「人・農地プラン」を基に、農業の担い手や関係部局、関係機関と協議しながら推進していく。年内には岐阜県及びJAとの戦略会議を実施し、令和7年3月末までの作成に向け、進め方を決定していく。

堂上蜂屋柿について

問 生産農家の高齢化による労働力不足を補う、市職員による支援（副業）は。

答 農家の高齢化などに伴う人手不足を背景に、農業分野で公務員による副業の流れは、全国各地に拡がりを見せつつある。市職員が地元にとって重要な農業を守ることが地域貢献であり、地域の特産品について知ることで、人材育成にもつながると考える。

今年度から「美濃加茂市職員の地域貢献活動に係る営利企業等の従事制限取扱規程」を新たに策定し、職員が職務外において、報酬を得て地域貢献活動に従事することを認めており、11月末現在、7名の職員が延べ10件の地域貢献活動に従事している。



亀井滋昭 議員

公共施設について

問 市民アンケートの結果についての見解は。

答 本市では、「あるべきすべての公共施設が、市民に愛され、活用されているまち」を目指している。そのためアンケート調査を行い、その結果から多くの方が公共施設の老朽化が進んでいることや、厳しい財政状況など本市の公共施設等の現状と課題に関心を持たれており、今後も健全財政を維持していくために、慎重に施設の必要性などを検討したうえで、状況によっては公共施設の削減や民間を活用したサービスの検討も行っていく必要があると考えている。

教育と行政と地域の連携について

問 市政に関する学習が行われている場合に、行政はどう関わるか。

答 現在、市役所の若手職員による「地域活性化スクールプロジェクト」のメンバーが中心となり、特

に加茂高校の総合学習の時間において、市職員や地域で活動する個人、団体の方をつなぐ等、協力体制をつくっている。今後は中学校にも広げていき、若者世代が市に愛着をもち、市の課題を自分ごととして積極的に考え、取り組んでくることが、地域の活性化にも資するものであり、市としても積極的に関わっていきたい。

教育と福祉の連携について

問 (仮称) 発達支援センターを運営するにあたっての考えは。

答 令和6年度から予定している、(仮称) 発達支援センターの運営については、学校現場へは学校教育課をはじめ校長会や教頭会でセンター設置や機能などの周知及び説明を行い、小中学校の教職員へのヒアリング等を行った。その中で「学校での課題などは、学校でなんとかしなくてはならない」また、「学校以外の支援機関の役割や、その存在自体を知らない」方も多く、生徒児童だけでなく家庭などのことを気軽に相談できる、外部の支援機関の存在が求められていることがわかった。今後は、連携先として想定できる機関へこの事業の周知等を行い、より良い仕組みづくりに努める。

市政一般に対する質問と答弁



瀬瀬源太 議員

給食費の無償化に向けて

問 物価高騰による給食費の引き上げを避けるために使われている交付金の期限とその後の措置は。

答 臨時交付金は今年度限りであり、来年度は市の予算で給食費を値上げしないよう対応したい。

問 3,616筆の署名が添付された給食費無償化を求める請願をどのように受け止めるか。

答 無償化を求める声として真摯に受け止めるが、自治体間競争で実施するものではなく、全国一律実施を求める働きかけが必要と考える。

問 18歳までを第一子として第2子を半額、第3子は無償とした場合の市の負担は。

答 第2子半額とした場合年間5,670万円、第3子無償とした場合2,460万円となる。市財政での更なる負担は困難で今後食材費が値下がりしない限り給食費の引き下げなどは困難。

市立図書館の運営について

問 図書館は1億円を超える市費を投入して運営しているが、人口1人当たりの貸出数は3.67で、多治見市の6.6に比して低調である。65歳以上の高齢者が23.4%（60歳以上は28.7%）を占めるが高齢者の利用状況は。

答 60歳以上の登録者は805人で21.2%である。

問 東図書館は若者の利用を位置づけとしているのに学習スペース、Wi-Fiが整っていないが。

答 Wi-Fiの設置について検討中である。

問 読書が遅く、図書館に通いにくい高齢者の貸出期間を延長すること、高齢者に限らず3年間貸し出しのない13万冊を超える本の貸し出し期間を長くすることは。

答 貸出期間の変更にはシステム改修が必要であるが検討したい。

中学生の制服について

問 アンケートで複数選択可とした理由は。

答 アンケートは制服に対する思いを把握するためのもので方向性を決めるものではない。

問 現在の制服以外でブレザー以外のものが想定されているか。

答 ブレザーを前提にはしていない。



金井文敏 議員

城跡を活かしたまちづくりについて

問 歴史的資源価値は。

答 「指定文化財でない」「根拠となる古文書や絵図等といった信頼性の高い史料に基づく記録類が少ない」あるいは「現地の保存状態が良好なものが限られる」等の理由により現時点は、高いとは言えない。

問 ガストロノミーツーリズム^{*}は。

答 堂上蜂屋柿づくり体験、ローゼルの収穫とジャムづくり体験等の実施や伝統的には山之上のナシ狩り体験で、今後は更に「食」の観点にスポットを当てて美濃加茂市の魅力を提供していきたい。

問 地域経済の活性化は。

答 観光コンテンツを醸成し、観光客を誘致し、最終的に地域経済の活性化する一連の流れを踏まえ、一生懸命知恵を絞っていきたい。

^{*}ガストロノミーツーリズムとは…その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、食文化に触れることを目的としたツーリズムのこと。

带状疱疹ワクチン接種補助について

問 重要性は。

答 带状疱疹の合併症として「带状疱疹後神経痛」が最も多く、日常生活に影響が生じることがある。带状疱疹はワクチン接種により、発症後の重症化を抑えるなどの効果が期待されており、治療に伴う医療費の抑制をはじめ、50代60代の働く世代の生産性向上にも貢献できるなど、ワクチン接種の効果は高いと感じている。

問 ワクチン接種の助成制度は。

答 先行自治体の助成制度を参考に、带状疱疹ワクチン接種に掛かる助成費用について、新年度予算にて実施できるよう、体制を整えていきたいと考えている。

地方自治体の「奨学金返還支援制度“全額肩代わり”」の推進について

問 全額肩代わり制度は。

答 若者の定住促進への効果は期待でき、重要な取り組みであると考えるので、今後、効果・実施方法について、調査・研究していきたい。

市政一般に対する質問と答弁



永田徳男 議員

新庁舎建設について

問 工事費用の55～60億円の算出根拠は。

答 建物本体の工事費用は、市民の意見を踏まえ、必要な機能を決定し、内容を固める必要がある。

概ね55億円～60億円の根拠としては、新庁舎に必要な床面積は、職員数などによる国の基準の平均面積、近年建設された県内自治体の建物本体の工事費単価、及び工事費単価上昇分として一般財団法人建設物価調査会の建築費指数を考慮して算出し、床面積9,150㎡、建設単価47万円～51万円、建設費指数1.27倍とし算出すると、約55億円～60億円と見込んでいる。

この金額には、地盤改良、造成・外構工事、庁舎建設の周辺環境に伴う道路や水路等の基盤整備、現庁舎の解体工事、防災拠点機能、市民交流機能、備品購入、職員駐車場の費用は含まれない。

敷地面積は、同一場所での立て替えも考えると2.1ha必要と考える。

問 市長の考える新庁舎の場所はどこか。

答 現在の考えとしては、市民の皆様の貴重な税金をかけて進める一大プロジェクトなので、市民の皆様の考えをしっかりと把握し、候補地や整備地を決定していく必要があると考えている。

まずは、行政の持つ情報を確認して、市民と市民の対話や、行政職員との意見交換などを重ね、一人でも多くの市民の皆様が自分事として考えていくことが大切であると考えている。

そのうえで、議員の皆様と新庁舎の候補地・整備地についての協議をしていきたいと考える。

庁舎は、行政や財政的な事情を考え、持続可能な社会を目指す行政の「核」と捉え、人と人とが触れ合う拠点として考え、まだ市民と一緒に考える余地があり、今は発表できない。

問 新庁舎の開庁の時期をどう考えているのか。

答 新庁舎整備ロードマップに沿って推進し、令和6年度末には新庁舎整備地の決定を目標とし、令和7年度以降に、建設工事を進めていくこととなるが、整備地の選定、用地買収、地盤改良の必要性など、事業手法によってかかる年数が変わるので、現段階では、新庁舎の開庁時期の確定的なことと言えない。

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいた主なご意見の一部を掲載します。

- 議員の皆さんの意見が重要になってきます。会派にこだわらず、地区の市民の代表としての考えを執行部と話し合っ、議会で協議していきましょう。
- 久しぶりに議会を傍聴させていただきました。女性の議員も増えて、以前とまた違うように感じました。新庁舎問題は大変難しいことと思いますが、孫子の代まで、という美濃加茂市のために、市民のためによりよい方向へ向かっていくことを願っています。
- 活発な意見交換がされていて、議会に熱気を感じました。議会を通して傍聴者が多く、議会が以前より注目されているのは良いことだと感じました。

議 会 日 誌 (主なもの)

11月	29日	美濃加茂市議会第4回定例会(～12月19日)	10日	商工会議所賀詞交換会
1日	12月		12日	議会だより編集委員会
3日	5日	美濃加茂市・富加町中学校組合議会定例会	13日	青年会議所式典
7日	11日	中濃法人会美濃加茂支部要望		文教民生常任委員会意見交換会
	18日	国民健康保険運営協議会	17日	(NPO法人ブリッジ)
14日	19日	議員研修会(情報セキュリティ研修)	18日	美濃加茂市堂上蜂屋柿振興会品評会
	25日	議会改革特別委員会	19日	議会だより編集委員会
15日		議会だより編集委員会		議会改革特別委員会
17日		可茂地域一部事務組合議会 定例会		国保事業推進トップセミナー・岐阜県
18日	26日	消防団年末夜警出動式		市町村国民健康保険運営協議会連絡協議会
20日	1月		22日	可茂地域町村行政懇話会
	6日	消防出初式		企画建設常任委員会視察(ヤマザキ
21日		新春消防友の会	25日	マザックマニュファクチャリング(株)
25日	7日	2024みのかも成人式		市健寿連合会新年互例会
27日	9日	市職員仕事始め式	26日	文教民生常任委員会視察(のぞみ教室)
				新庁舎建設特別委員会

情報セキュリティ研修を行いました

講師：^{おおくご}大國護 ^{ともたか}智貴氏（情報処理安全確保支援士
自治体DX推進室DX推進マネージャー）

テーマ

～情報漏洩とSNS炎上から身を守るために～

現代社会では、デジタルテクノロジーの進化に伴い、情報はより価値のある資産となりつつあるなか、情報漏洩やサイバー攻撃のリスクや脅威は高まっています。

市議会では、タブレットの導入や、SNSを連絡ツールとして利用するなど、DXを推進しており、改めて「セキュリティ意識の向上」、「情報の保護」、「対応方法の取得」を確認するため、令和5年度から富士通Japan株式会社より市に派遣されているDX推進マネージャーの大國護氏を講師として勉強会を開催しました。

今後も、市議会として情報セキュリティやDXに関する調査・研究を重ね、議会活動に取り組んでいきます。



【令和6年能登半島地震に係る災害義援金について】

美濃加茂市議会として32万円（議員16人×2万円）を「石川県令和6年能登半島地震災害義援金」口座に寄付いたしました。

新しい編集委員になりました。

【議会だより編集委員】

委員長：渡辺孝男（中央右） 副委員長：金井文敏（中央左）
委員：柘植宏一、永田徳男、渡邊一子、谷本梓（左から）



次回の定例会の予定

令和6年市議会第1回定例会
2月21日(水) 初日
3月 5日(火) 一般質問
6日(水) 一般質問
7日(木) 一般質問
11日(月) 質疑
21日(木) 最終日

場所：市役所本庁舎3階 議場

時間：午前9時から（最終日は委員会終了後）

※日程は都合により変更となる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

皆様もご存知のように、能登地方を震源とした大きな地震が発生しました。犠牲になられた方々に、心からご冥福をお祈りすると共に、被災された皆様方にお見舞いを申し上げます。

今年の干支は辰年「陽の気が動いて万物が振動し、活気旺盛になって大きく成長し、形がととのう年」と言われています。私達議員活動も辰年のように活気旺盛になり美濃加茂市が大きく成長する事を祈りたいと思います。 渡辺孝男

第4回定例会の議場装花



議場に飾られている花は、加茂農林高校園芸流通科の生徒さんに作っていただきました。

次回の議会だよりは、令和6年5月1日を予定しています。ご意見ご感想は、市議会ホームページ（ご意見・アンケート）、はがき、ファックス、メールにてお寄せください

